



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月10日

上場会社名 佐渡汽船株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9176 URL <https://www.sadokisen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 弘明
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土屋 亨 TEL 025-245-2311
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	1,990	5.6	△772	—	△799	—	△809	—
2018年12月期第1四半期	1,884	6.2	△887	—	△912	—	△922	—

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 △801百万円 (—%) 2018年12月期第1四半期 △927百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	△56.92	—
2018年12月期第1四半期	△65.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	15,686	1,663	7.8
2018年12月期	15,503	2,468	13.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 1,221百万円 2018年12月期 2,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2019年12月期の配当につきましては、現段階では未定とさせていただきます。

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	11,838	△0.9	175	△28.7	76	△49.9	31	△70.5	2.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 1 Q	14,275,450株	2018年12月期	14,275,450株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	48,199株	2018年12月期	48,149株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 1 Q	14,227,288株	2018年12月期 1 Q	14,188,301株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の評価に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向が続いておりますが、一方で世界経済においては、英国のEU離脱問題、米中貿易摩擦等の懸念材料も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社では、今年度の重点課題として「安全運航の徹底」、「お客様を確実に増やしていく」、「グループ会社の健全化に努める」の三点を掲げ、積極的な営業展開を図りました。

当第1四半期連結累計期間においては、暖冬少雪のため荒天による欠航が例年と比較して少なく、旅客輸送人員及び自動車航送台数は堅調に推移しました。また、2019年1月～3月は燃料油価格変動調整金2ゾーンを適用（前年同期は1ゾーンを適用）したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

しかしながら、2019年3月9日、当社のジェットフォイル「ぎんが」が両津港に向け航行中、浮流障害物（海洋生物と思われる）と接触し、乗客80名超の方が負傷される事故が発生しました。関係当局のご指導をいただきながら事故の原因究明及び更なる安全対策を進めるとともに、負傷されたお客様には一日も早くご快癒されるよう誠心誠意対応しておりますが、現時点ではお客様への補償やジェットフォイル「ぎんが」の復旧等にかかる費用及び売上高を含めた事業への影響について、合理的に見積もることは困難な状況であります。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,990,245千円（前年同期比5.6%増）、営業損失772,244千円（前年同期は887,237千円の営業損失）、経常損失799,582千円（前年同期は912,396千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失809,756千円（前年同期は922,275千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり、季節的変動が顕著であります。

なお、前連結会計年度より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①海運

当第1四半期連結累計期間の旅客輸送人員は218,619人（前年同期比5.0%増）、自動車航送台数は乗用車換算で38,862台（前年同期比3.6%増）、貨物輸送トン数は36,443トン（前年同期比4.2%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は1,325,244千円（前年同期比7.3%増）、セグメント損失（営業損失）は732,350千円（前年同期は817,876千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

②一般貨物自動車運送

当第1四半期連結累計期間の売上高は383,013千円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益（営業利益）は17,068千円（前年同期比528.7%増）となりました。

③売店・飲食

当第1四半期連結累計期間の売上高は168,543千円（前年同期比3.5%増）、セグメント損失（営業損失）は27,774千円（前年同期は28,467千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

④観光

当第1四半期連結累計期間の売上高は47,486千円（前年同期比1.9%減）、セグメント損失（営業損失）は47,217千円（前年同期は55,723千円のセグメント損失（営業損失））となりました。

⑤不動産賃貸

当第1四半期連結累計期間の売上高は25,148千円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益（営業利益）は5,429千円（前年同期比37.1%増）となりました。

⑥その他

当第1四半期連結累計期間の売上高は40,811千円（前年同期比14.2%増）、セグメント利益（営業利益）は4,266千円（前年同期比82.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ183,169千円増加し、15,686,646千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ70,566千円増加し3,965,815千円となりました。これは受取手形及び売掛金が49,767千円、たな卸資産が43,445千円それぞれ減少したものの、現金及び預金が99,237千円、その他が64,567千円それぞれ増加したことが要因であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ115,216千円増加し11,696,980千円となりました。これは償却の進行による減少があったものの、資産の取得による増加が上回ったことによるものであります。なお、建設仮勘定の減少は本勘定への振替えによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ987,406千円増加し14,022,661千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ841,762千円増加し4,902,518千円となりました。これは支払手形及び買掛金が124,551千円、短期借入金が445,000千円、1年内返済予定の長期借入金が184,572千円、賞与引当金が139,853千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ145,644千円増加し9,120,143千円となりました。これは社債が200,020千円、特別修繕引当金が46,452千円それぞれ減少したものの、長期借入金が412,833千円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ804,237千円減少し1,663,985千円となりました。これは809,756千円の親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の業績予想につきましては、2019年2月15日公表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,875,337	1,974,574
受取手形及び売掛金	1,048,430	998,663
たな卸資産	815,688	772,243
その他	161,499	226,066
貸倒引当金	△5,705	△5,731
流動資産合計	3,895,249	3,965,815
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	5,301,358	5,229,495
建物(純額)	2,634,285	3,032,915
土地	1,738,812	1,738,812
建設仮勘定	295,059	30,080
その他(純額)	784,986	816,102
有形固定資産合計	10,754,500	10,847,404
無形固定資産		
その他	246,854	276,589
無形固定資産合計	246,854	276,589
投資その他の資産		
投資有価証券	162,539	163,354
長期前払費用	300,683	305,076
その他	119,181	106,550
貸倒引当金	△1,993	△1,993
投資その他の資産合計	580,410	572,987
固定資産合計	11,581,764	11,696,980
繰延資産		
社債発行費	26,464	23,851
繰延資産合計	26,464	23,851
資産合計	15,503,477	15,686,646

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	475,296	599,847
短期借入金	449,000	894,000
1年内返済予定の長期借入金	1,835,628	2,020,200
1年内償還予定の社債	410,040	400,040
未払法人税等	58,948	31,780
賞与引当金	48,908	188,761
その他	782,936	767,890
流動負債合計	4,060,756	4,902,518
固定負債		
社債	989,060	789,040
長期借入金	6,709,453	7,122,286
役員退職慰労引当金	65,606	54,543
退職給付に係る負債	864,283	878,554
特別修繕引当金	192,208	145,756
資産除去債務	27,393	27,530
その他	126,496	102,434
固定負債合計	8,974,499	9,120,143
負債合計	13,035,255	14,022,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,135	843,135
資本剰余金	652,192	652,192
利益剰余金	547,825	△261,931
自己株式	△30,577	△30,589
株主資本合計	2,012,575	1,202,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,065	18,674
その他の包括利益累計額合計	18,065	18,674
新株予約権	25,411	25,411
非支配株主持分	412,171	417,093
純資産合計	2,468,222	1,663,985
負債純資産合計	15,503,477	15,686,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	1,884,247	1,990,245
売上原価	2,530,876	2,517,129
売上総損失(△)	△646,629	△526,884
販売費及び一般管理費	240,608	245,360
営業損失(△)	△887,237	△772,244
営業外収益		
固定資産賃貸料	19,969	19,515
受取利息	29	14
受取配当金	631	575
その他	14,564	13,627
営業外収益合計	35,193	33,731
営業外費用		
支払利息	43,025	41,734
固定資産賃貸費用	9,569	8,965
その他	7,758	10,370
営業外費用合計	60,352	61,069
経常損失(△)	△912,396	△799,582
特別利益		
固定資産売却益	2,211	21,981
その他	89	—
特別利益合計	2,300	21,981
特別損失		
固定資産売却損	—	64
固定資産除却損	190	1,388
特別損失合計	190	1,452
税金等調整前四半期純損失(△)	△910,286	△779,053
法人税、住民税及び事業税	19,217	30,054
法人税等調整額	△5,146	△6,680
法人税等合計	14,071	23,374
四半期純損失(△)	△924,357	△802,427
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,082	7,329
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△922,275	△809,756

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純損失(△)	△924,357	△802,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,259	571
その他の包括利益合計	△3,259	571
四半期包括利益	△927,616	△801,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△925,422	△809,147
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,194	7,291

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	不動産賃貸	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,235,098	377,856	162,843	48,398	24,309	1,848,504	35,743	1,884,247
セグメント間の内部売上高 又は振替高	267	90,330	10,633	95,510	2,820	199,560	48,588	248,148
計	1,235,365	468,186	173,476	143,908	27,129	2,048,064	84,331	2,132,395
セグメント利益又は 損失(△)	△817,876	2,715	△28,467	△55,723	3,961	△895,390	2,341	△893,049

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△895,390
「その他」の区分の損失	2,341
セグメント間取引消去	5,812
四半期連結損益計算書の営業損失	△887,237

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	不動産賃貸	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,325,244	383,013	168,543	47,486	25,148	1,949,434	40,811	1,990,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	530	85,369	8,329	94,553	3,045	191,826	46,501	238,327
計	1,325,774	468,382	176,872	142,039	28,193	2,141,260	87,312	2,228,572
セグメント利益又は 損失(△)	△732,350	17,068	△27,774	△47,217	5,429	△784,844	4,266	△780,578

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△784,844
「その他」の区分の損失	4,266
セグメント間取引消去	8,334
四半期連結損益計算書の営業損失	△772,244

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、「その他」に含まれていた「不動産賃貸」について量的重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。